【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和5年11月7日(2023.11.7)

【国際公開番号】WO2021/096781
【公表番号】特表2022-554403(P2022-554403A)
【公表日】令和4年12月28日(2022.12.28)
【年通号数】公開公報(特許)2022-240
【出願番号】特願2022-526759(P2022-526759)
【国際特許分類】
A61B 17/12(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ 17/12

【手続補正書】
【提出日】令和5年10月27日(2023.10.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
体内管腔に配置するための塞栓デバイスであって、
カテーテルの内部に位置するときに、第１の線形構成を有する第１のセグメントであって、カテーテルの外部にあるときに、キャビティを規定する第１の三次元構造を形成するように構成された第１のセグメントと、
前記第１のセグメントから延びる第２のセグメントであって、カテーテルの内部に位置するときに、第２の線形構成を有し、カテーテルの外部にあるときに、第２の三次元構造を形成するように構成された第２のセグメントとを備え、
前記第１の三次元構造のキャビティが、前記第２の三次元構造の少なくとも大部分を収容するように構成されており、
前記第１のセグメントは第１の幅を有する第１の断面を有し、前記第２のセグメントは第２の幅を有する第２の断面を有し、前記第１のセグメントの前記第１の幅は前記第２のセグメントの前記第２の幅よりも大きいことを特徴とする塞栓デバイス。
【請求項２】
請求項１に記載の塞栓デバイスにおいて、
前記第１の三次元構造が第１のループを含み、前記第２の三次元構造が第２のループを含むことを特徴とする塞栓デバイス。
【請求項３】
請求項２に記載の塞栓デバイスにおいて、
前記第１の三次元構造の第１のループの第１の曲率が、前記第２の三次元構造の第２のループの第２の曲率よりも小さいことを特徴とする塞栓デバイス。
【請求項４】
請求項１～３の何れか一項に記載の塞栓デバイスにおいて、
前記第１のセグメントの前記第１の断面が第１の厚さを有し、前記第２のセグメントの前記第２の断面が、前記第１の厚さよりも小さい第２の厚さを有することを特徴とする塞栓デバイス。
【請求項５】
請求項１～３の何れか一項に記載の塞栓デバイスにおいて、

前記第１のセグメントおよび前記第２のセグメントが、一体的な構成を形成していることを特徴とする塞栓デバイス。
【請求項６】
請求項１～５の何れか一項に記載の塞栓デバイスにおいて、
前記第１のセグメントが第１の編組セグメントを含み、前記第２のセグメントが、第２の編組セグメントを含むことを特徴とする塞栓デバイス。
【請求項７】
請求項１に記載の塞栓デバイスにおいて、
前記第１の三次元構造が、第１の複数のループを含み、前記第１の複数のループのそれぞれのループのループ幅、ループ曲率、編組幅、編組厚さ、編組角度またはそれらの任意の組合せが、前記第１の三次元構造を形成する第１のセグメントの長さ方向に沿って増加または減少し、かつ／または、
前記第２の三次元構造が、第２の複数のループを含み、前記第２の複数のループのそれぞれのループのループ幅、ループ曲率、編組幅、編組厚さ、編組角度またはそれらの任意の組合せが、前記第２の三次元構造を形成する第２のセグメントの長さ方向に沿って増加または減少することを特徴とする塞栓デバイス。
【請求項８】
請求項１に記載の塞栓デバイスにおいて、
前記第１の三次元構造が、第１の複数のループを含み、前記第１の複数のループのそれぞれの隣接するループ間の角度が、前記第１の三次元構造を形成する第１のセグメントの長さ方向に沿って増加または減少し、前記第１の複数のループは少なくとも４つの第１のループを含み、かつ／または、
前記第２の三次元構造が、第２の複数のループを含み、前記第２の複数のループのそれぞれの隣接するループ間の角度が、前記第２の三次元構造を形成する第２のセグメントの長さ方向に沿って増加または減少し、前記第２の複数のループは少なくとも４つの第２のループを含むことを特徴とする塞栓デバイス。
【請求項９】
請求項１に記載の塞栓デバイスにおいて、
前記第１の三次元構造が、第１の角度を形成する少なくとも２の隣接するループを有し、前記第２の三次元構造が、前記第１の角度より小さい第２の角度を形成する少なくとも２の隣接するループを有することを特徴とする塞栓デバイス。
【請求項１０】
請求項１～９の何れか一項に記載の塞栓デバイスにおいて、
前記第１のセグメントおよび前記第２のセグメントが、遠位端および近位端を有する細長い編組部材の一部分であることを特徴とする塞栓デバイス。
【請求項１１】
請求項１に記載の塞栓デバイスにおいて、
前記第１の三次元構造が、前記第１の三次元構造を形成する第１のセグメントの長さ方向に沿って増加または減少するそれぞれの第１のループ幅を有する少なくとも４つの第１のループを含み、かつ／または、
前記第２の三次元構造が、前記第２の三次元構造を形成する第２のセグメントの長さ方向に沿って増加または減少するそれぞれの第２のループ幅を有する少なくとも４つの第２のループを含むことを特徴とする塞栓デバイス。
【請求項１２】
請求項１に記載の塞栓デバイスにおいて、
前記第１の三次元構造が、前記第１の三次元構造を形成する第１のセグメントの長さ方向に沿って増加または減少するそれぞれの第１のループ曲率を有する少なくとも４つの第１のループを含み、かつ／または、
前記第２の三次元構造が、前記第２の三次元構造を形成する第２のセグメントの長さ方向に沿って増加または減少するそれぞれの第２のループ曲率を有する少なくとも４つの第２

のループを含むことを特徴とする塞栓デバイス。
【請求項１３】
請求項１に記載の塞栓デバイスにおいて、
前記第１のセグメントが、第１の編組角度を有する第１の編組セグメントを含み、前記第２のセグメントが、第１の編組角度とは異なる第２の編組角度を有する第２の編組セグメントを含むことを特徴とする塞栓デバイス。
【請求項１４】
請求項１に記載の塞栓デバイスにおいて、
前記第１のセグメントが、徐々に変化する編組角度を有する編組セグメントを含むことを特徴とする塞栓デバイス。
【請求項１５】
請求項１に記載の塞栓デバイスにおいて、
前記第１の三次元構造が第１の複数の編組ループを含み、前記第２の三次元構造が第２の複数の編組ループを含み、前記第１および第２の三次元構造が互いに一体化されていることを特徴とする塞栓デバイス。